

2025年12月期 第3四半期決算サマリー

ハイライト

M&Aも活用し、事業ポート
フォリオ改革が進捗
経営方針をアップデート

事業ポートフォリオ改革の
進捗に伴って

増収増益（赤字幅縮小）

●売上高

875 百万円

YoY

1.5 倍

●営業利益

△**126** 百万円

YoY

赤字幅縮小

セグメント別売上高はYoY で減収も事業譲渡で収益性 を改善

ポイント

メディア事業

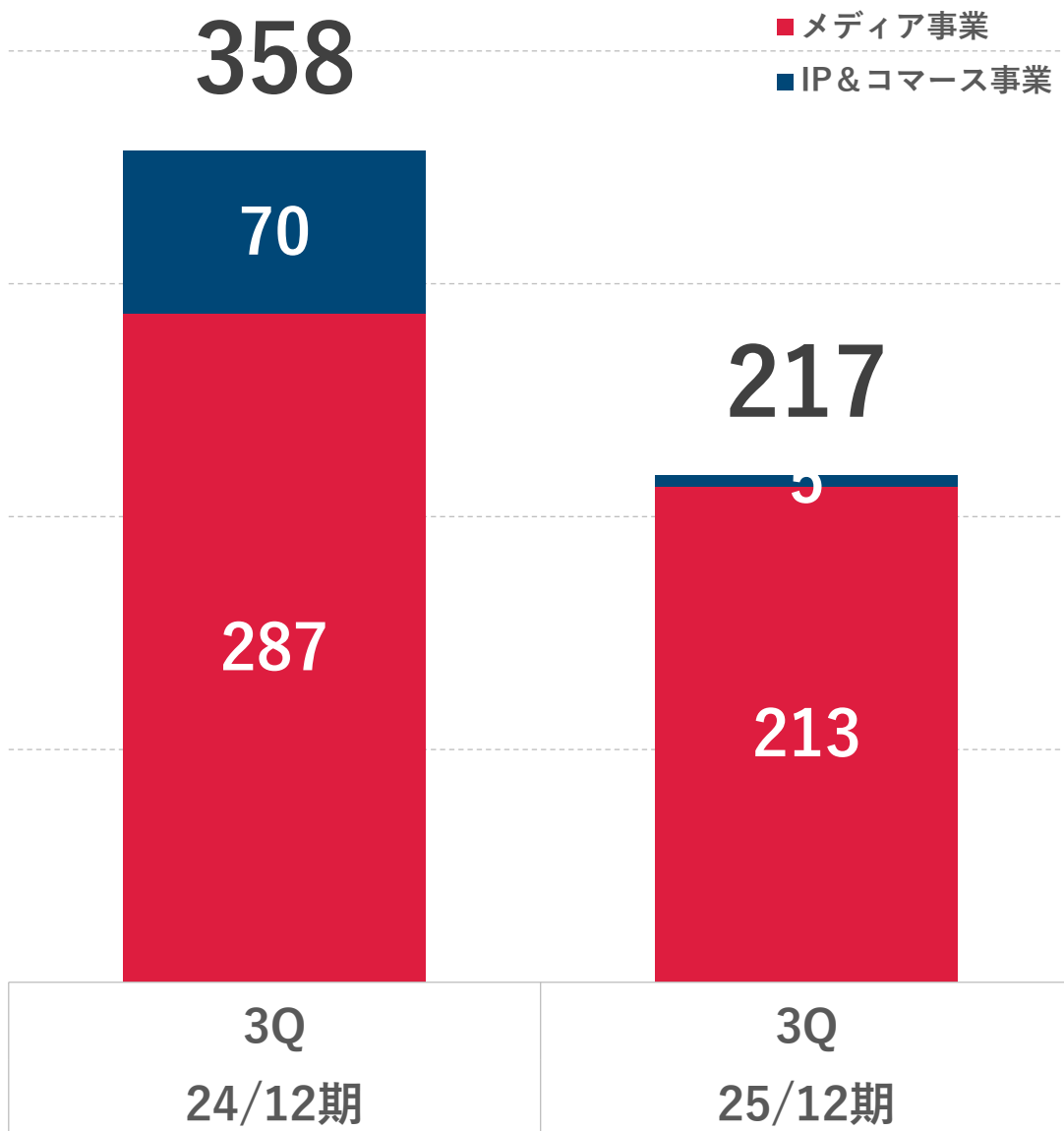
メディア共創企画が一時的に売上減

IP&コマース事業

YURINAN事業を譲渡し収益性改善

YoY 61%

(百万円)



“新中長期経営方針”

時価総額100億円超の定着を
大目標に、30/12期までの5ヵ年
で売上高「CAGR + 40%」、営業
利益率「10+ %」を実現する。

2030年までに
時価総額100億円超の定着を実現

財務目標

売上高 5ヵ年CAGR

+ 40 %

30/12期 営業利益率

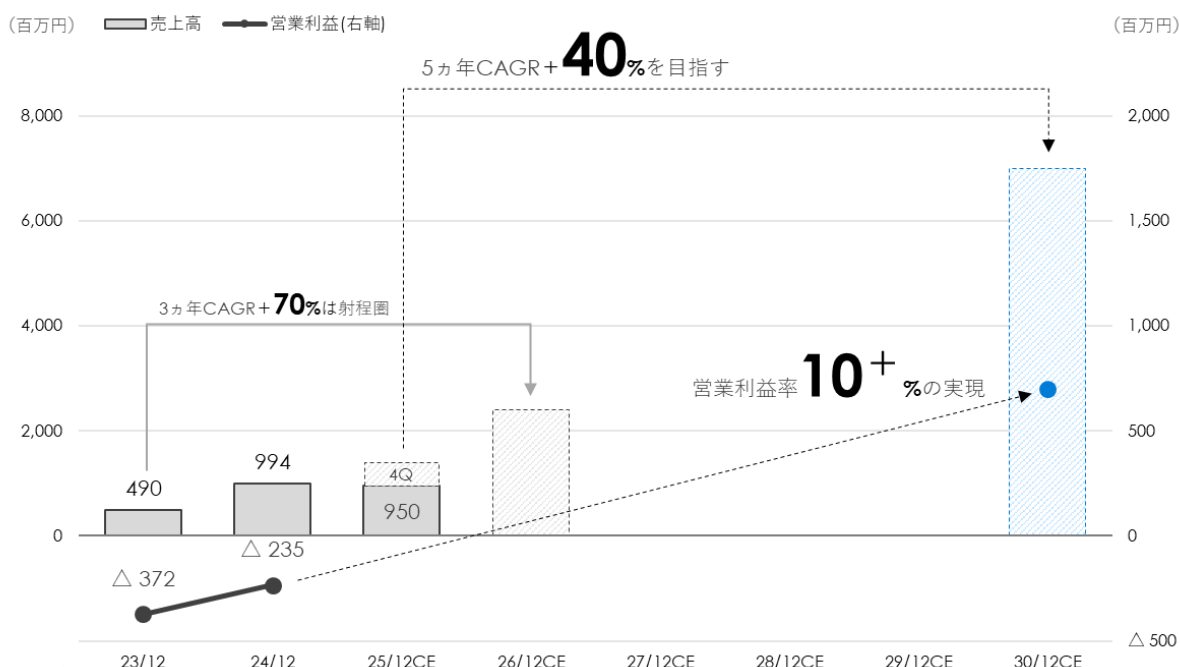
10+ %

事業目標

マイクロ・エコノミー支援実績数

期間累計 100 件

事業コンセプトは、[日本国内の眠れるアセットを再活用し、ひと・まち・文化がめぐる新たな経済循環を創出する](#)とした。



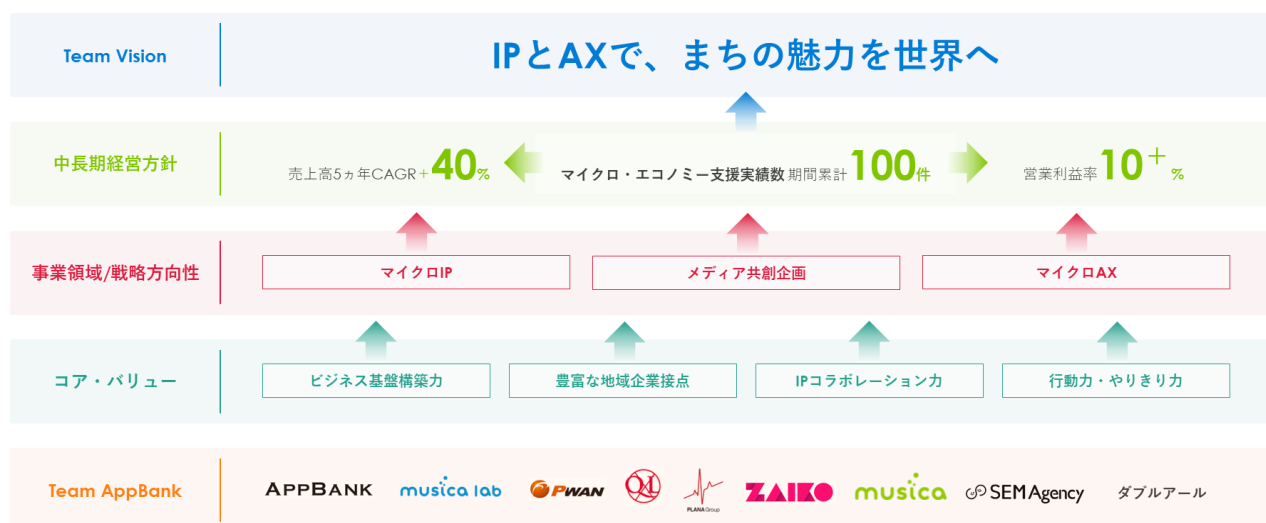
新 中長期経営方針

前 中期経営方針

※ 前 中期財務目標は取り下げず、
その延長線上として、新中長期経営方針をアドオンする

M&Aや資本業務提携を通じて Team AppBankの和を拡大。

ビジョン実現に向け、新たな経済循環を共創するためのコア・バリューを構築



本資料の取り扱いについて

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- 発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

詳細は決算短信及び決算説明資料
(PC版) を参照ください